

一般社団法人 堺高石青年会議所 2026年度 共創組織拡大室	
共に創る拡大向上委員会	
委員長 山田 順人	
設置背景	近年、会員数は減少傾向にあり、組織力の低下や活動基盤の弱体化が危惧されています。持続的に成長できる組織や体制を築くには、メンバー一人ひとりが地域への誇りと使命感を持ち続けられるよう、70年にわたる歴史と文化を継承し、理念を共有しつつ行動を共にする新たな仲間の存在が不可欠で、より強固で多様性のある組織へ成長していく必要があります。
設置目的	■堺高石JCメンバーの継続的な参画意識や挑戦意欲が損なわれないよう、持続可能で力強い組織を次世代へ継承していくことを目的とします。 入会後の定着と活躍を支える仕組みを整えることで、メンバーが主体的に学び挑戦できる環境を築きます。
活動概要	①年間を通じた会員拡大運動の主導及び実施 ②入会承認式の設営及び運営（1月） ③新入会員オリエンテーションの設営及び運営（1月） ④泉州地域青年会議所合同例会の支援（6月） ⑤家族交流事業の実施（8月例会） ⑥JCI世界会議クラーク大会でのブース出展（11月） ⑦新入会員の同期会、ブース出展などの支援
K G I	①メンバーの100%が拡大活動の重要性を理解した状態 ②参加した新入会員の100%が意識の向上した状態 ③参加した新入会員の100%が同期の絆が深まり活動に前向きになった状態 ④参加者の100%が泉州地域の一体感と次年度以降への気運が高まった状態 ⑤参加者の100%がJC活動に対しての理解が深まった状態 ⑥来場者の100%が堺高石の魅力を理解できた状態 ⑦新入会員の100%が同期での活動の重要性を理解した状態
政策手法	①組織を次世代へ継承するために、共に創る拡大活動を全体で行うことで、新入会員と入会が浅いメンバーの参画意識と挑戦意欲の向上を醸成します。 ②歴史ある堺高石JCの諸先輩方や現役メンバーが行動してきた意義や魅力を伝播するために、年始交歓会中に新入会員を発表することで、組織の一員であることへの意識を高めます。 ③これから活動を前向きに取り組むために、新入会員が積極的に交流し合える企画を取り入れることで、同期の絆を深めて共創する意識を高めます。 ④JCが泉州地域の発展に寄与するために、各LOM間の連携を強化し信頼関係が深まる交流を促すことで、次年度以降もより強固な組織へと向上します。 ⑤JC活動に対しての理解を深めていただくために、交流の機会を提供し、目的、理念に基づいた発信を行うことで、家族やパートナーが日頃の活動を支える意欲を高めます。 ⑥世界各地からの来場者に堺市・高石市の伝統を知っていただくために、わがまちの歴史、文化、産業にまつわるブースを出展することで、地域が誇る魅力を伝播します。 ⑦新入会員が同期と共に活動の重要性を感じるために、困難に直面した際には適切な支援を行うことで、新入会員の意識の向上と意欲の向上を醸成します。
パートナー	①堺高石JCシニア・クラブ ②なし ③なし ④泉州地域各地青年会議所 ⑤メンバーのパートナー、家族 ⑥日本JC JCI関係委員会 ⑦なし